

貸借対照表

2022年 3月 31日

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I. 流動資産	219,840	I. 流動負債	29,667
現金及び預金	204,673	買掛金	4,468
売掛金	10,903	一年以内返済予定長期借入金	6,240
棚卸資産	1,636	未払金	8,576
前払費用	230	未払費用	673
未収入金	420	未払法人税等	3,778
預け金	1,951	未払消費税等	1,599
その他	24	預り金	103
		賞与引当金	4,228
II. 固定資産	62,197	II. 固定負債	158,760
1. 有形固定資産	53,958	長期借入金	158,760
建物及び構築物	40,209	負債合計	188,427
工具、器具及び備品	13,749	純 資 産 の 部	
2. 投資その他の資産	8,239	I. 株主資本	93,610
敷金保証金	8,239	1. 資本金	45,000
		2. 資本剰余金	45,000
		3. 利益剰余金	3,610
		(1)その他利益剰余金	3,610
		繰越利益剰余金	3,610
		純資産合計	93,610
資産合計	282,038	負債及び純資産合計	282,038

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産

- ・ 原材料 最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)を採用しておりますが、一部の原材料につきましては、個別原価法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・ 有形固定資産 定率法を採用しております。但し、建物及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物・・・・・・・・ 3～20年

工具、器具及び備品・・・・・・・・ 3～15年

(3) 重要な引当金の計上基準

- ・ 賞与引当金 従業員の賞与に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度負担分を計上しております。

(4) 外貨建資産負債の換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。